

駅からお散歩マップあさがや

suginamiku
asagaya

杉並の中心を行く散歩道



- start 北口 阿佐ヶ谷駅
- ➔
- 1 北口駅前スタ
ロード商店会
- ➔
- 2 阿佐谷北仲
通り商店会
- ➔
- 3 阿佐谷商和会
- ➔
- 4 世尊院
- ➔
- 5 阿佐谷神明宮
- ➔
- 6 阿佐谷新進会
- ➔
- 7 阿佐谷
一番街商店会
- ➔
- 8 阿佐谷
ハルセンター
- ➔
- 9 天桂寺
- ➔
- 10 須賀神社
- ➔
- 11 成宗井財神社
- ➔
- 12 川端新緑会
- ➔
- goal 南口 阿佐ヶ谷駅

駅からお散歩マップ 阿佐ヶ谷

約3時間
(約4.0km)



阿佐谷北口駅前 スターロード商店会



阿佐谷北仲通り商栄会



阿佐谷商和会



杉並の中心を行く散歩道

区役所があり地理的には、杉並区の中心に位置する阿佐ヶ谷ですが、駅周辺には、アーケードを中心に生活に密着したお店が数多く存在しています。

世尊院



世尊院は阿谷山正覚寺ともいい、真言宗豊山派の寺で本尊は不動明王です。創立は、現在中野区にある宝仙寺が阿佐谷から移転した永享元年(1429)頃と伝えられています。宝仙寺が移転した後に、地元村民の寺として残されたのが世尊院です。

明治22年から大正11年まで、旧杉並村の村役場がこの寺の本堂におかれていました。現在の本堂は、昭和10年に再建されたものですが、都道133号線建設のため、昭和48年現在地に移築し、今日に至っています。

阿佐谷神明宮



この神社は、天照大御神、月読尊、須佐之男尊と、日本書紀において最も尊いとされる三貴神をお祀りしている神社です。三貴神を一緒にお祀りしている神社は非常に珍しいといわれています。もともとは日本武尊が東征の帰り道に阿佐ヶ谷の地で休息し、その後村人が現在お伊勢の森と称される場所(現在の北五丁目)に一社を設けたのが始まりといわれています。建久年間(1190~1198)には土豪横井兵部(一説には横川)が伊勢神宮に参拝した折、宮川の近くの霊石を持ち帰り、神明宮に安置したと伝えられ、この時の石は今でもご神体として本殿に鎮まっています。

阿佐谷新進会商店街



阿佐谷一番街商店会



阿佐谷パールセンター



天桂寺



月光山天桂寺は曹洞宗の寺です。開創は慶長年間(1596~1614)と伝えられ、小田原北条氏の家臣岡部忠吉が庵を建てたのが始まりといわれています。その後、寛永10年(1633)頃、忠吉の子で旧田端村の領主となった幕府旗本岡部吉正が伽藍を整えました。また、延宝3年(1675)吉正の孫岡部忠豊が葬られて以来、岡部家の墓地となりました。

杉並の地名は、この岡部氏が青梅街道沿いに植えた杉並木に由来するといわれ、墓地には岡部家歴代の墓があります。

安政3年(1856)の大暴風で建物はすべて倒壊してしまい、現在の本堂は大正12年に建立したものです。

須賀神社



この神社は旧成宗村本村の鎮守で、祭神は素戔鳴命です。由緒については、近世初期に社殿を造営したとも、あるいは天慶4年(941)に創建され、慶長4年(1599)に再建されたとも伝えられていますが、安政年間に記録を焼失したため詳しくはありません。明治維新後、当社は成宗村の村社として人々の信仰を集め、昭和33年には社殿を新築、同時に旧拝殿を神楽殿に改築するなど、現在の景観を整えました。また境内末社としては御嶽神社と稲荷神社があります。

成宗弁財天社



この社は、成宗村がつくられたのと同じ頃、水神様のご加護を祈って、湧水池(弁天池、現在、神社裏手)のほとりに建立されたのが始まりと伝えられていますが、詳細は不明です。ご神体は、鎌倉時代に江ノ島弁財天で焚いた護摩の灰を練り固めて作ったという伝説のある、素焼きの曼荼羅像です。昔は、日照りが続くとは雨乞いのため、弁天社にお詣りし、弁天池の水を持ち帰る習慣であったといわれています。また、大正七年頃にとりこわされましたが、池の畔には成宗富士と呼ばれた富士塚がありました。

川端新興会

